

逆転現象を伴う告示後住宅の補助対象化に向けた「要望書」へのご賛同のお願い

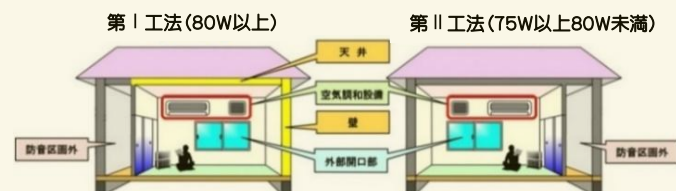
当会では、全国の他の基地と比べ大きく遅れている厚木基地周辺の住宅防音事業の推進と、不公平行政の象徴ともいえる「逆転現象を伴う告示後住宅」の補助対象化に向け、「厚木基地周辺の騒音対策を考える会」と連携し、**周辺住民の皆様から、国あての「要望書」への賛同を募る活動を進めています。**

6年前の艦載機移駐後も、戦闘機などの飛来は断続的に続いており、騒音は避けることができない大きな問題ですが、その数少ない軽減策となる「逆転現象を伴う告示後住宅の補助対象化」のため、おひとりでも多くの皆様のご賛同をお願いいたします。

当会あての「賛同はがき」をご投函ください！

(お問合せは当会事務局まで)

対象化が実現すれば、国の補助金(補助率100%)で次のような工事ができるようになります！！



- ✓ 窓類を、遮音性能の高い防音サッシ等へリニューアル
- ✓ 天井・壁の貼替え(防音仕様への改造(第Ⅰ工法))
- ✓ エアコンの設置(区域に応じ最大4台又は2台まで)

【施工例】

施工後(防音用サッシ)

施工前(一般用サッシ)



—— 厚木基地周辺住宅防音工事協力会について ——

当会は、厚木基地周辺で施工される住宅防音工事に関し、関係諸官庁への要請、住民への協力等により、地域の住環境の改善を図ることを目的とする団体です。
また、地元住民組織(厚木基地周辺の騒音対策を考える会、厚木基地周辺復旧工事・外郭防音工事促進協議会)や、全国各地に所在する他の基地周辺の防音工事協力会とも連携を図りながら、住民本位の施策の実現を目指した活動を展開しています。

防音工事に関する施策その他掲載内容
についてのお問合せは
協力会事務局 (TEL) 046-261-0799
又は
(e-mail) kyouryokukai@daichou.co.jp まで

厚木住防通信 Vol.10/2025.夏号
7月15日 発行(不定期刊)

厚木住防通信

Vol. 10/2025.夏号



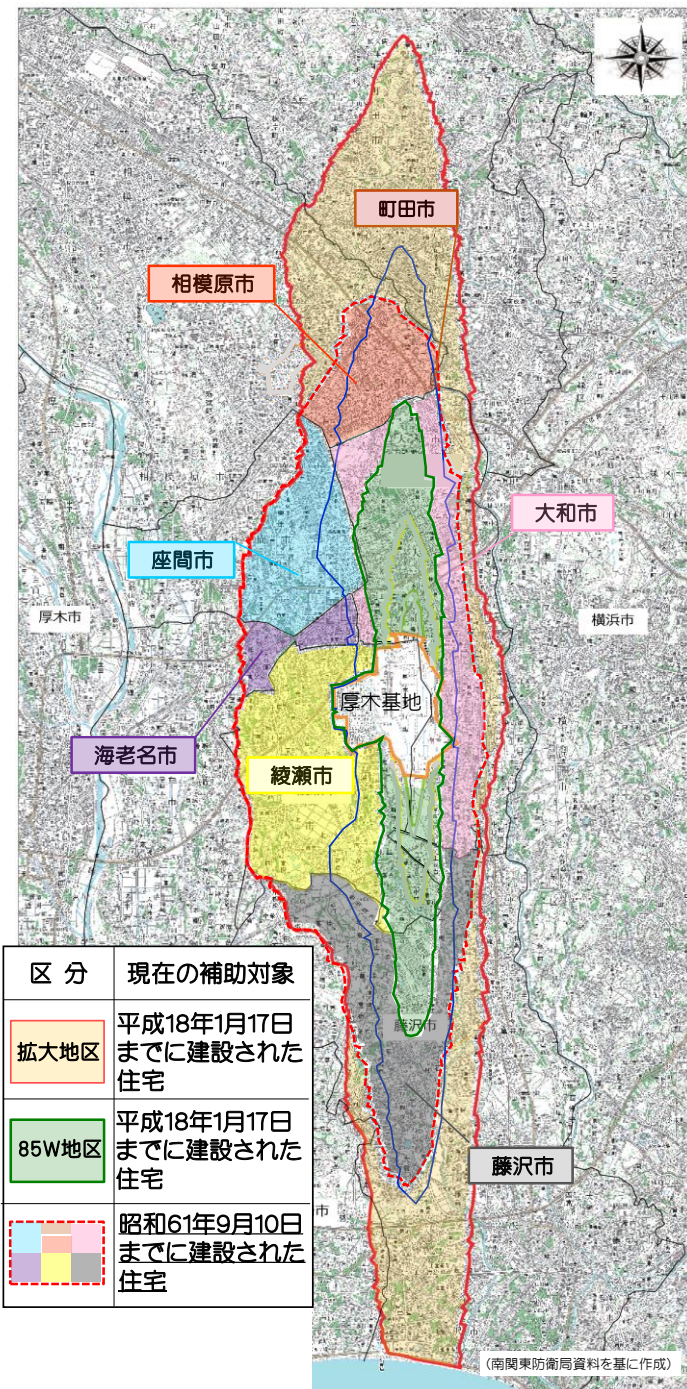
厚木基地周辺住宅防音工事協力会

〒242-0018 神奈川県大和市深見西2-4-14

TEL 046(261)0799

<http://www.daichou.co.jp/cooperative>

補助対象区分と「逆転現象を伴う告示後住宅」所在区域



区 分	現在の補助対象
拡大地区	平成18年1月17日までに建設された住宅
85W地区	平成18年1月17日までに建設された住宅
	昭和61年9月10日までに建設された住宅

クリーム色の区域(拡大地区)と緑色の区域(85W地区)に挟まれている、7つの市ごとに色分けした区域が、「逆転現象を伴う告示後住宅」(昭.61.9.11～平.18.1.17の間に建築された、住宅防音工事に係る補助の対象外とされている住宅)が所在する区域です。

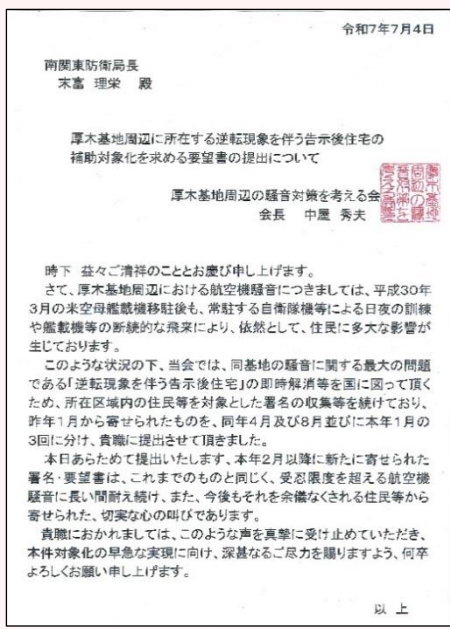
「逆転現象を伴う告示後住宅」とは？

基地に近く騒音がより深刻な場所に建っているにもかかわらず、**国の区域指定の方法が原因で、補助対象から取り残されている住宅**です。

国に署名・要望書を重ねて提出

令和4年度から行われてきた国の騒音度調査が昨年12月に終了し、区域見直しに向けた作業が進められていますが、このような中、当会は、「厚木基地周辺の騒音対策を考える会」と連携し、本年2月から6月までの間に 周辺住民の方々から新たに寄せられた「逆転現象を伴う告示後住宅の補助対象化を求める署名・要望書」第4弾 を、活動開始以降の集計数(個人署名 6,229名、集合住宅 6,205戸)とともに提出しました。

平成18年の区域指定での発生以降、周辺自治体・議会や当会がその解消を粘り強く求め続けてきたことに加え、万を超える住民の方々から声が寄せられているという事実、国が真摯に向き合うかが注目されています。





厚木基地周辺 住宅防音工事協力会

要望数などの最新データは
こちら →
お友達登録で配信中！



米軍 F-35戦闘機が飛来を開始

3月1日、空母艦載機F-35Cが厚木基地に飛来し、同月3日まで滞在を続けました。この最新鋭ステルス戦闘機は、米海兵隊岩国基地にも強襲揚陸艦搭載型のF-35B(表紙挿絵参照)が配備されており、同月には、旧来のFA-18C/D(レガシーホーネット)からの更新(部隊交替)が完了しています。

海兵隊のホーネットは従来、空母出航の間にも散発的に編隊で厚木基地に飛来し、ローカルフライト(関東周辺での飛行訓練)を繰り返してきましたが、今後は、同様の散発的な飛来が、このF-35Bで繰り返されることも想定されます。

また、F-35Bに関しては、短距離離陸／垂直着陸能力の発揮に必要な訓練に伴う激しい騒音を巡り、航空自衛隊新田原基地(宮崎県)の周辺で強い反発も生じています。

日米安保条約・地位協定に基づき、厚木基地に係る運用を米軍に広くゆだねている政府には、今後も続いていく騒音への直接的な対策としての住宅防音施策を、中断なく講じていくべき責務があります。



駐機中のF-35C(2025年3月2日)

住宅防音工事協力会 年次総会開催／中央要請実施

4月24日、厚木基地周辺住宅防音工事協力会の年次総会が大和市の アムールホール(大長産業 本社)で開かれ、今期の活動方針等が了承されました。

また、午後には、都内(グランドヒル市ヶ谷)で全国基地周辺住宅防音工事協力会の年次総会も開催され、さらに、総会後には、全国各基地周辺の協力会会員による中央要請として防衛本省を訪問し、逆転現象を伴う告示後住宅の補助対象化を柱とする「要望書」を、同省や関係国会議員に提出するなどの活動を行いました。